



6年生租税教室 税金の大切さを学ぶ



6月18日(火)に、岡崎税務署の方を講師としてお迎えし、6年生で租税教室が行われました。私たちが生活していく上で、税金はなぜ必要なのか。私たちが暮らしやすい環境を作っていくために、税金はどのように使われているのか。税金がなくなると、社会はどうになってしまうのかなど、私たちの日々の生活に大きくかかわっている税金について考えを深め、税金の大切さについて学びました。

身近なところで税金は何に使われているかというと、みんなが毎日通っている学校では、校舎や机、いす、黒板、理科の実験道具、プール、教科書など、学習に必要な様々なものに使われています。また、病気やけがで病院にいったときの医療費や、お年寄りのための介護や年金、お父さんやお母さんが子育てしやすい環境づくりなど、いろいろな場面で公共施設や公共サービスを提供するために使われています。さらに、警察署や消防署、市役所、公立病院、公園、ゴミ処理施設、道路や橋の整備なども税金が使われています。つまり税金は、みんなが互いに支え合い、よりよい社会を作っていくための「会費」といえるでしょう。

では、もしも税金がなくなったら、わたしたちの生活はどうなるでしょうか。家庭で自由に使えるお金が増えて、おかしやおもちゃをたくさん買ってもらえていいなと思うかもしれませんが、税金がなくなると、命に関わる救急車は、お金を払わないと病院まで行けない。学校に行くとき毎日通る道路の信号もついていないし、道もボロボロ。ごみの収集車が来なくて、街中ゴミだらけ。交通事故にあったり、地震や台風の被害にあっても、助けてもらうサービスはすべてお金がかかってしまうなんてことになってしまうかもしれません。税金がないと、このような当たり前前に利用している公共サービスがなくなってしまうのです。だからこそ、みんなが互いに支え合い、共によりよい社会を作っていくために税金は必要であり、



この費用を広く公平に分かち合うことが大切になります。

みんなが暮らしやすい環境は、みんなのお家の人が一生懸命働いているお金で成り立っています。みんなのために頑張っている家族や様々な人たちに、「ありがとう」の感謝の気持ちを持ち続けましょう。

水となかよし プールで水泳学習

6月からプールでの水泳学習が始まりました。泳ぐことが大好きな子もいれば、ちょっと苦手なプールは嫌だなあと思っている子もいることでしょう。でも、せっかく仲間と一緒にプールで気持ちよく水と仲良くなれる機会なので、



ルールを守って精いっぱい取り組みましょう。自分で目標を立て、少しでも長い距離を泳いだり、新たな泳法にチャレンジしたりできるといいです。ただし、水は危険を伴うので、油断せずに**安全第一**を心がけてください。